

板橋区役所前診療所グループ 2021 診療所だより 10月号

テーマ：学生の頃好きだった教科 又は 苦手だった教科

発行：板橋区役所前診療所
〒173-0013 東京都板橋区氷川町1-12
コスモ・ティエース3階
(都営三田線 板橋区役所前駅A3出口
養育院とあり)
TEL 03-5375-9031



医師：島田 潔

子供の頃は新聞の社会面・中学高校の頃は大人の週刊誌を読むのが好きだったので、「社会科」や「国語」が勉強しなくても得意でした。英語がダメでした…。お笑い芸人の出川哲朗さんの英語にいつも共感しています♡



医師：宇仁 淳

好きだった教科は家庭科です。小学校の時には料理クラブに入り男子が2名のみでした。「おしるこ」作りがあり、男子チームのみ大豆を煮ることから始めたため、暗くなってから下校したのを鮮明に覚えています。寒い日で最高に美味しかったです。



医師：藤井 秀樹

好きだった科目は数学です。運転免許停止となってしまった時、講習で計算問題をやらされたのですが、時間内で終わらせ全問正解したのは10年ぶりだと褒められました。褒められただけで免停期間は変わりませんでした(笑)



医師：鈴木 陽一

小学生の時は算数が好きでした。問題を早く解き終わって、答えが合っていたら遊びに行っていたという学校の先生のにんじんに飛びついていたと思います。このころ字が雑になっていったのでしょう。中学高校生までは数学が好きでした。逆に世界史はまったくだめでした。カタカナの名前が頭に入らず、高校の世界史で覚えているのは「ヒットライト」だけです。これが何だかもわかりません。世界史おたくの娘に失笑されています。



医師：浅海 直

国語が苦手でした。今になって、もっと真剣にやっておけばと後悔しています。もっと本をたくさん読んでおけば良かったです。漫画とテレビを見すぎました。



医師：伊藤 直

地理が好きでした。憧れのサッカー選手のいる国や都市を世界地図を広げて探し、眺めることが楽しかったです。嫌いだった教科はあり過ぎて良くわかりません。



医師：安井 宏仁

学生時代は「歴史」が苦手でした。年号を覚えたりするのが辛くて…。社会人になってからは、歴史関連の本が好きになり、時々読みます。恐らく、好きになった理由としてはテストがないからでしょうか。



医師：三寺 隆之

中学時代は数学、高校時代は生物・化学が好きでした。大学時代は耳鼻科学が好きで、よく勉強していました。



医師：御子柴 路朗

小学校から高校まで継続して国語が苦手でした。現代文はまだしも、古文・漢文は本当に苦手で、授業中に指名された漢文の朗読ができずに苦しんだのを今でもよく覚えています。



医師：糸山 智

苦手な教科は、国語(特に漢字)、音楽、美術。漢字が覚えられないし、絵が下手。私のカルテを見る機会がある方は「ですよ〜」と思ったことでしょう。小学2年生で、3学期末まで九九が覚えられず、留年するところでした。(私の担当患者さんには内緒ですよ。)



医師：長谷川 大輔

昔は地理が好きで地図を眺めていると意味もなく安心できた覚えがあります。そして今もグーグルアースばかり見ている。



医師：中山 昇

正直、得意な科目は無く、苦手な科目は文系科目全般と美術でしょうか、特に絵心がないので、走っている人でも正面を向いた絵しか描けません。



医師：丹下 徹彦

字は上手くないですが、余計な事を考えずにただ書くことに集中できる書道の授業が好きでした。いつかチャンスがあればまたやりたいと思っています。



医療～豆知識～ コーナー 今月のテーマ：下肢のむくみ

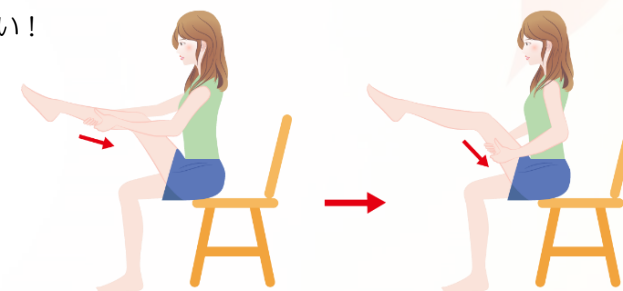


医師：丹下 徹彦

下肢のむくみで困っている人は意外と多いのではないのでしょうか。むくみの原因には色々あり、運動不足から病気が隠れている場合までさまざまです。一時的で改善するものは病気ではないことが多いですが、朝起きた時から足がむくんでいる場合や急にむくんできた場合は、何らかの原因が隠れていることが多いです。気になる方は、お医者さんに相談してみてください。また、むくみが慢性的にあると、皮膚のバリア機能が壊れて炎症を起こしたり、バランスが崩れて転倒しやすくなります。慢性的にむくみがあると、血管の弁が壊れるためさらに悪化します。ご自身やご家族様でも出来るむくみ治療には以下のようなものがあります。

- ① 下肢の運動、つま先から足の付け根に向かってマッサージ
- ② 風間、椅子に座っている時に台に足をのせて拳上する(30分~1時間ほどでもOK)
- ③ 弾性ストッキングや弾性包帯を装着する(始めは看護師さんなどに教わりましょう)

ぜひ試してみてください!



～連携室からのメッセージ～



★介護サービスの予定変更について

ケアマネジャーさまが作成して下さった、サービス提供票・別表および週間予定表等を拝見して、患者さまがどのような介護計画で生活されているか把握しています。そして、当院で訪問診療の予定を組むにあたり、とても重要な資料となっております。デイやショートステイなどのサービスの変更や追加があった際は、大変お手数ですが、早めにお知らせいただくようご協力をお願い申し上げます。(連携室/松本・平井)

